



第47期 中間報告書
平成27年4月1日～平成27年9月30日
三協フロンテア株式会社



基本理念

目的（存在理由）

社会への貢献

わたしたちは
社会に役立ち、人々の心や暮らしを豊かにし、
よって社会に貢献することを目的とします。

基本的価値観（不変の主義）

1 開拓の精神

わたしたちは、失敗を恐れず、情熱を持って、
未開の地（新しい分野）に挑戦することを誇りとします。

2 不断の努力

わたしたちは、弛みない努力によって、
困難に打ち勝ち、目的の実現に至ることを喜びとします。

3 誠実な意志

わたしたちは、わたしたちを支える人々^{*}に対し、
揺らぐことのない誠実な意志によって行動します。

※「わたしたちを支える人々」とはステークホルダー
（お客様、サプライヤー、株主・投資家、従業員とその家族など）を指します。

10年ビジョン（2008年4月～2018年3月）

技術力と収益力において
世界一のモバイルスペースメーカーになり、
資源循環型ビジネスにより社会へ貢献する。

株主の皆様へ



平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに第47期中間(平成27年4月1日～平成27年9月30日)
報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当第2四半期連結累計期間(当上期)における日本経済は、政府の経済政策や日本銀行の金融緩和政策の実施等により、好調な企業収益を背景に、雇用及び所得環境の改善などが見られました。

その一方で、中国の経済成長鈍化や、難民問題などのヨーロッパ情勢の不安により、今後の国際情勢は注視すべき状況が続いており、依然として国内経済の不透明感が高まっております。

ユニットハウス業界におきましては、前年度に引き続き、

建設工事が堅調に推移していることにより、需要の高い状態が継続しております。しかしながら、建設労働者の不足が顕在化しており、先行きは楽観視できない状況となっております。当社のユニットハウスは、工場内で製品の大部分を製造可能なことから、現在社会問題化している建設労働者不足の解消に貢献できると考えております。

このような情勢の中、当社グループといたしましては、新製品の開発、既存製品の改良を行うことで、新たな需要の創出に取り組んでおります。また、協力会社とのさらなる関係強化を図り、これまで以上にスムーズな施工体制の確立を目指しております。さらには、展示販売場やトランクルーム等の販売ネットワークの拡充についても、計画に沿って継続して取り組んでおります。

「必要なとき、必要なだけ、必要な空間を提供する」ことにより、当社のユニットハウスは、従来の仮設建設市場のみならず、本建築市場、不動産市場にまでその優位性を十分に発揮できるものと確信しております。“建築の工業化”という当社のコア技術をさらに高めていくことにより、新たな市場の開拓を図っていく所存です。

今後も創業当時から受け継がれてきたフロンテアスピリッツ(開拓の精神)を原点に、社会に貢献する会社を目指し、情熱をもって活動してまいります。

当上期の業績について

ユニットハウスのレンタルにおきましては、民間の設備投資が前年に引き続き好調を維持しているため、稼働棟数は前年を上回る高水準となりました。また、エアコンシステムや電気配線、電気設備をユニットハウスと一体化した配電システムによって、ユニットハウスの付加価値を向上

させ、引き続き受注獲得に努めました。トランクルームにおいても、新たに28店舗出店するなど売上拡充を図りました。

ユニットハウスの販売につきましては、新規展示場の出店により販売能力の向上に努めるとともに、店舗・一般事務所といった本建築事業に注力し、より一層の収益力の向上に努めてまいりました。

上記の結果、当上期の連結売上高は15,144百万円(前年同期比6.0%増)となりました。

利益面においては、原材料価格の上昇等により、営業利益1,866百万円(前年同期比5.6%減)、経常利益1,862百万円(前年同期比4.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,059百万円(前年同期比1.5%減)となりました。

当社は今後も、リユース可能なユニットハウスの特長を活かし、期間限定で空間を必要とするニーズを開拓していくことで、業績の拡大及び企業価値の向上に努めてまいります。

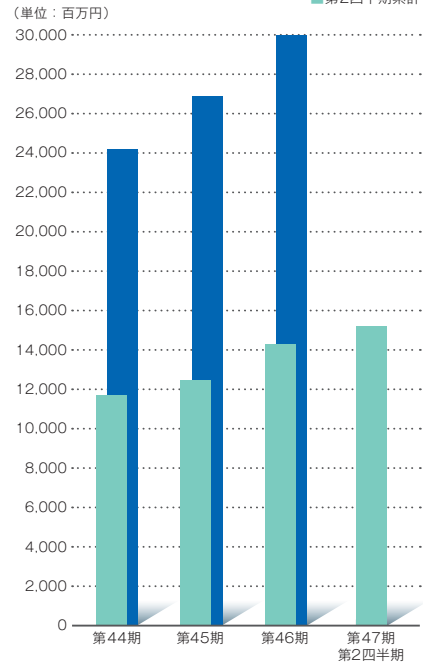
株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

平成27年12月
代表取締役社長 **長妻貴嗣**

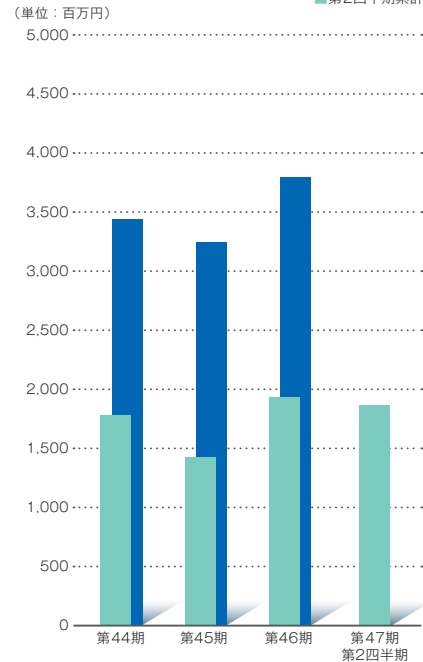
業績ハイライト

区分	期別	第44期 (平成25年3月期)	第45期 (平成26年3月期)	第46期第2四半期 (平成27年3月期)	第46期 (平成27年3月期)	第47期第2四半期 (平成28年3月期)
売上高 (百万円)		24,095	26,747	14,286	29,844	15,144
経常利益 (百万円)		3,438	3,244	1,942	3,793	1,862
当期純利益 (百万円)		2,069	2,051	1,075	2,273	1,059
1株当たり当期純利益 (円)		92.82	92.28	48.37	102.27	47.64
総資産 (百万円)		40,300	47,743	50,227	51,906	53,180
純資産 (百万円)		20,040	21,419	22,152	23,101	23,851

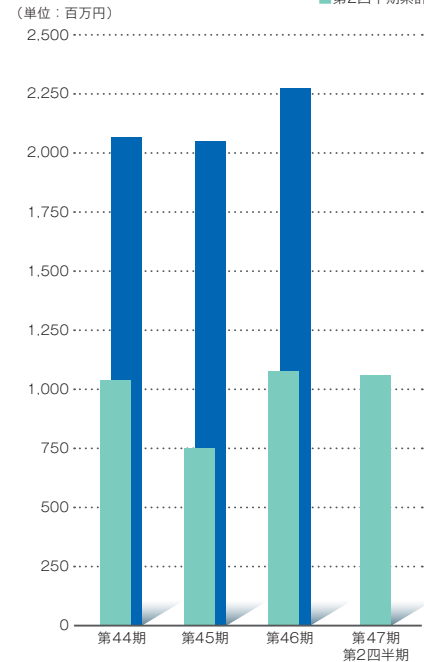
売上高の推移



経常利益の推移



当期純利益の推移



免責条項 本報告書で記述されている通期の業績見通しなど将来についての事項は、予断しない経済状況の変化などさまざまな要因の影響を受けるため、その結果については当社が保証するものではありません。

各事業の概況

ユニットハウスのレンタル

1日からでもレンタル可能。
建設現場からイベント、仮設住宅まで。
必要な期間に最適な空間を提供します。

ユニットハウスのレンタルについては、建設着工高増加の影響もあって、各地で出荷が好調に推移しました。当社はユニットハウス本体だけでなく、空調や電気といった設備システムの付帯受注の強化により、受注拡大に努めました。

これらの結果、当期のレンタル料収入は9,138百万円(前年同期比3.3%増)となりました。

今後も、建設現場向けのシェア拡大と新たなレンタル需要の創出を目指し、新規顧客獲得に向けた営業を強化していきます。



住宅販売事務所(外観)



住宅販売事務所(内観)

ユニットハウスの販売

オフィス、店舗、教育・保育施設、倉庫など
全国のさまざまなシーンで
ユニットハウスが活躍しています。

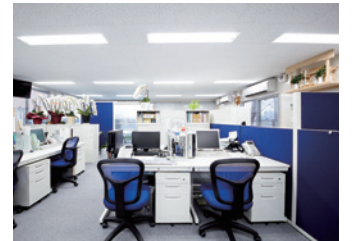
ユニットハウスの販売は、前期に引き続き、展示場の出店を推進し、販路の拡大を図る一方で、店舗・一般向け事務所といった本建築事業に注力するなど、より一層の収益力の向上を目指しました。

これらの結果、販売売上高は5,639百万円(前年同期比9.4%増)となりました。

今後も市場ニーズに合わせた製品開発に取り組むとともに、展示販売の強化や販路の拡大を推進していきます。



会社事務所(外観)



会社事務所(内観)

Topics MS-J 出荷拡大

1

新製品の「MS-J」をリリース後、お客様からご好評いただき、イベント会場、住宅販売事務所等多くの用途にご利用いただいています。

当社は2015年6月に新製品のMS-Jをリリースしました。

本製品の特徴として、内外装色を明るいオフホワイトとし、バラベット等の化粧カバー部材を標準装備、さらに大開口ガラスFIX窓やルーバーパネルをレンタルオプションとして採用するなど、外観や室内の使用感を向上させております。

本製品のリリース後、建替え中の仮設建築物やイベント会場、住宅販売事務所等の期間限定空間においても、高い意匠性を求めるお客様から特に好評をいただいております。

また、建設現場事務所においても近年は清潔感のある職場環境が求められており、MS-Jを採用いただくことで、従来の暗いイメージが変わって良くなったとのお声をいただいております。

今後も当社はユニットハウスを通じて最適な空間をお客様に提供することを目指していきます。



建設現場事務所



イベント会場



幼稚園仮設園舎(内観)

Topics 全国に展示場138店舗、トランクルーム268店舗を展開

2

当社は、平成27年9月30日現在、ユニットハウスを販売する展示場を138店舗、トランクルームのレンタルサービスを提供するU-SPACEを268店舗、計406店舗を全国展開しています。当期、新たにオープンした34店舗の中から岩国出張所をご紹介します。

岩国出張所

2015年7月に当社展示場の空白地である山口県の1号店としてオープンいたしました。

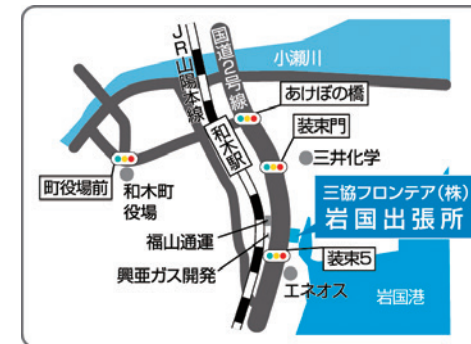
同出張所は交通量の多い国道2号線に面しており、米軍基地や三井化学・JXなどプラントも近隣にあるなど工事関連のお客様の来場・問い合わせが多い好立地に位置しております。

展示場のショールーム化としてガラス張り展示場が好評をいただいております、ご契約いただいた物件に関しましても第一号もガラス張りの本設販売でした。

もちろんリユースハウス・倉庫などの仮設販売の品揃えも豊富で仮設から本設まで幅広いニーズにお応えいたします。



岩国出張所



案内図



商談スペース

連結財務諸表

四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位：千円)

	第47期第2四半期 (平成27年9月30日)	第46期末 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産	12,584,751	11,750,823
現金及び預金	2,884,131	2,575,930
受取手形	993,228	1,052,737
営業未収入金	4,214,206	3,971,081
売掛金	1,247,534	1,563,723
棚卸資産	2,699,521	2,136,575
その他	561,986	464,828
貸倒引当金	△15,857	△14,053
固定資産	40,595,932	40,156,139
有形固定資産	39,240,977	38,884,748
レンタル資産	22,062,550	21,767,713
建物	3,589,536	3,629,912
土地	9,481,842	9,471,264
その他	4,107,048	4,015,858
無形固定資産	256,735	223,252
投資その他の資産	1,098,219	1,048,138
資産合計	53,180,684	51,906,962

(単位：千円)

	第47期第2四半期 (平成27年9月30日)	第46期末 (平成27年3月31日)
負債の部		
流動負債	16,594,190	14,939,919
支払手形	173,942	151,526
買掛金	4,233,785	3,935,088
短期借入金	5,969,242	4,115,496
未払費用	2,777,456	2,942,168
未払法人税等	838,153	957,065
賞与引当金	376,173	373,692
その他	2,225,437	2,464,881
固定負債	12,735,080	13,865,372
長期借入金	9,750,500	10,875,844
役員退職慰労引当金	202,716	197,291
退職給付に係る負債	814,195	792,738
その他	1,967,668	1,999,498
負債合計	29,329,270	28,805,292
純資産の部		
株主資本	23,754,807	23,030,146
資本金	1,545,450	1,545,450
資本剰余金	2,776,663	2,776,663
利益剰余金	19,743,069	19,017,519
自己株式	△310,375	△309,487
その他の包括利益累計額	96,606	71,524
その他有価証券評価差額金	15,897	15,191
為替換算調整勘定	132,824	121,462
退職給付に係る調整累計額	△52,116	△65,129
純資産合計	23,851,413	23,101,670
負債純資産合計	53,180,684	51,906,962

四半期連結損益計算書(要旨)

(単位：千円)

	第47期第2四半期 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	第46期第2四半期 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	15,144,629	14,286,876
売上原価	9,144,163	8,448,588
売上総利益	6,000,466	5,838,288
販売費及び一般管理費	4,134,041	3,861,440
営業利益	1,866,425	1,976,847
営業外収益	69,502	55,996
営業外費用	73,574	90,691
経常利益	1,862,353	1,942,152
特別利益	2,049	—
特別損失	8,248	15,574
税金等調整前四半期純利益	1,856,155	1,926,578
法人税等	797,142	851,132
四半期純利益	1,059,012	1,075,445
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,059,012	1,075,445

四半期連結包括利益計算書

(単位：千円)

	第47期第2四半期 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	第46期第2四半期 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
四半期純利益	1,059,012	1,075,445
その他の包括利益	25,081	△6,719
四半期包括利益	1,084,094	1,068,726

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：千円)

	第47期第2四半期 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	第46期第2四半期 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	493,819	△1,233,695
投資活動によるキャッシュ・フロー	△532,113	△526,415
財務活動によるキャッシュ・フロー	343,095	1,314,656
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,399	△6,277
現金及び現金同等物の増減額	308,201	△451,732
現金及び現金同等物の期首残高	2,395,930	2,352,318
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,704,131	1,900,585

企業の概要 (平成27年9月30日現在)

商号	三協フロンテア株式会社	
本社所在地	〒277-8539 千葉県柏市新十余二5番地	
資本金	15億4,545万円	
代表者	代表取締役社長 長妻 貴嗣	
設立	昭和44年12月5日	
事業内容	1. ユニットハウスの製造・販売・レンタル 2. トランクルームの製造・販売・レンタル 3. 立体式駐車装置の製造・販売・レンタル	
役員	取締役会長	長妻 和男
	代表取締役社長	長妻 貴嗣
	常務取締役	端山 秀人
	取締役執行役員	小島 豊
	取締役執行役員	三戸 茂夫
	取締役執行役員	藤田 剛
	取締役執行役員	小嶋 俊一
	常勤監査役	村井 康之
	監査役	上田 俊郎
	監査役	重田 龍男
	監査役	山崎 直人

特定建設業許可 国土交通大臣許可(特-26)第18154号
一級建築士事務所登録 千葉県知事登録1-1204-1483号

株式の状況 (平成27年9月30日現在)

会社が発行する株式の総数	60,000,000株
発行済株式の総数	23,356,800株
1単元の株式の数	1,000株
株主数	1,402名 (平成27年3月末比60名増)
大株主	

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
(有)和幸興産	11,233	48.09
長妻 貴嗣	3,314	14.19
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)	668	2.86
長妻 和男	648	2.78
三協フロンテア従業員持株会	323	1.38
三菱UFJ信託銀行(株)	200	0.86
(株)千葉銀行	195	0.84
長妻 幸枝	180	0.77
日本生命保険相互会社	162	0.70
日本マスタートラスト信託銀行(株)	156	0.67

※当社は自己株式を1,126千株保有していますが、上記大株主からは除外しています。

株主メモ

事業年度
4月1日～翌年3月31日

定時株主総会
毎年6月

期末配当金受領株主確定日
3月31日

中間配当金受領株主確定日
9月30日

株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)

公告の方法
電子公告 (URL <http://www.sankyofrontier.com/>)
※ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。

上場証券取引所
東京証券取引所 JASDAQ スタンダード

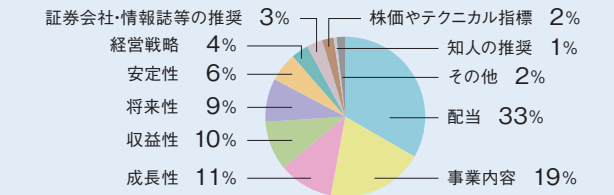
(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

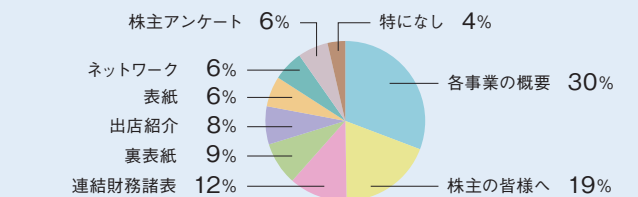
アンケート結果のご報告

「第46期 年次報告書」で実施した株主様アンケートの集計結果をご報告します。151名の株主の皆様からご回答をいただきました。厚く御礼申し上げます。株主の皆様からいただいたご意見を真摯に受け止め、今後の経営方針やIR活動の参考にしてまいります。

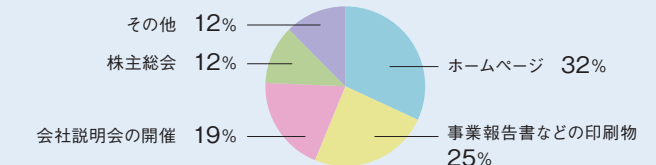
Q1 当社の株式を購入された理由をお聞かせください。 (複数回答)



Q2 事業報告書の内容で最も興味深かった内容は何ですか? (複数回答)



Q3 今後、当社のIR活動について、充実してほしいことをお聞かせください。



当社ホームページのご案内

今後とも、事業報告書やホームページの充実を図り株主の皆様方へ分かりやすい情報提供を心がけてまいります。

<http://www.sankyofrontier.com/>

新日本フィルハーモニーが演奏する
柏市民文化会館リニューアル記念
第22回 フロンテアコンサートを開催しました



当社は、社会貢献活動の一環として、2015年7月20日(月・祝日)に「柏市民文化会館リニューアル記念第22回フロンテアコンサート」を開催いたしました。

このコンサートは、地域社会への貢献を目的に「より多くの方に上質のクラシック音楽をお楽しみいただきたい」という趣旨で、当社がジャスダック市場に上場した1994年より毎年開催し、今回で22回目を迎えました。

今回は指揮者に小林研一郎氏、ヴァイオリンに千住真理子氏をお迎えし、約1,300名の地域の皆様にご参加いただきました。

今後も、さらに高まる需要に応えるべく企業として着実に成長し、積極的に社会貢献活動に取り組んでまいります。



コンサートの運営を毎回当社の社員が行っています

コンサートの概要

日時	2015年7月20日(月・祝日)
場所	柏市民文化会館
出演	管弦楽：新日本フィルハーモニー交響楽団 指揮者：小林 研一郎 ヴァイオリン：千住 真理子